

あいな人
いちのせきを愛する人

経営する水田170アールのうち140アールでEM(有用微生物群)を使った有機栽培に取り組む三浦克男さん。「安全・安心を消費者に届けることが農家の使命」と言い切る。安全へのこだわりが、違いのわかる米を生み、販路は年々拡大している。

人間の健康が食事で決まると一緒に「米づくりは土づくり」からと93年、アイガモ農法を導入、とことん有機栽培にこだわってきた。「(EM米は)慣行米と比べ、収量こそ落ちるが、味と品質は折り紙付き」と絶対の自信を持つ。

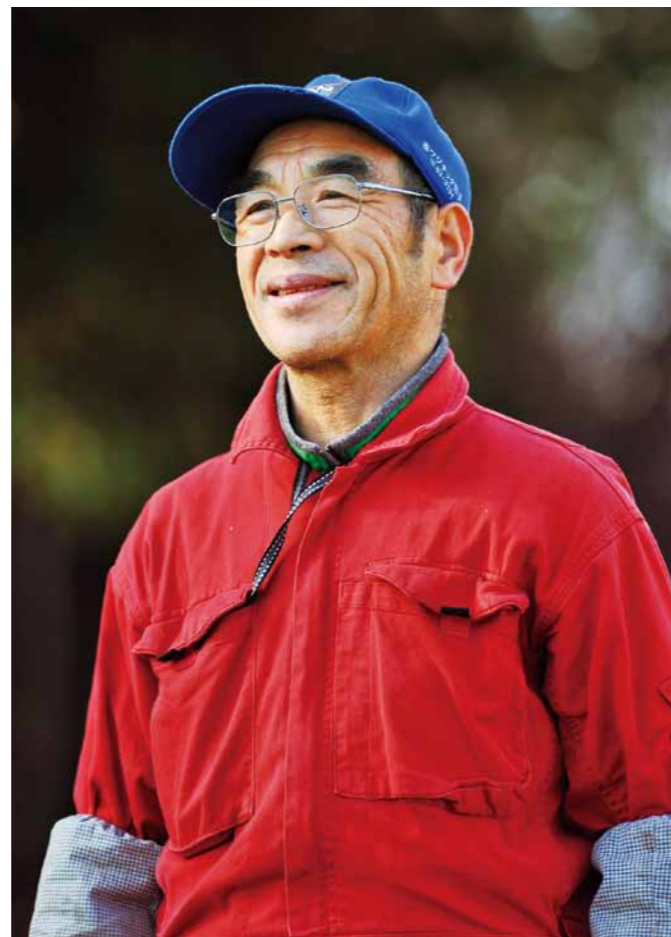
米へのこだわりは少年時代から。仕事が忙しい両親に代わって、子供たちが当番制で「ご飯炊き」を担当した。4人兄弟の末っ子だった克男さん。当番のたびに「兄貴たちに負けないうまいご飯を炊いてやろう」と工夫を重ねた。「まず、といだ米をザルでこし、ぬか分を素早く抜く。それから30分はどうかして炊くと、驚くほどうまいご飯が炊ける」と少年のような顔を見せる。

男のこだわりは克男さんのプライド。生産者の顔が見える農業で消費者との信頼を築いてきた。安全で安心、高品質でうまいEM米やアイガモの評価は年々高まり、首都圏の消費者からはギフトの注文も舞い込むようになった。

「近年、食の安全や環境の保全が叫ばれ、本当に安全なもの、安心できるものが評価される時代になった。賢い消費者が増えれば、正直な生産者は認められる。だからチャンスだと思って頑張ってきた」と振り返る。

そんな矢先、あの東日本大震災は起きた。東京電力福島第一原子力発電所の事故で放射性物質が大気中に放

安全・安心へのこだわりは男のプライド
風評にも屈しない頑固な農業は不変



安全・安心をモットーに有機栽培に取り組む認定農業者

三浦克男さん

Miura Katsuo 70 農業 藤沢町新沼

出された。規制値を超える食品は出荷できなくなった。

安全がモットー。それだけに*検査結果が出るまでは「いてもたってもいられなかった」と言う。「幸い、うちからはヨウ素もセシウムも検出されなかった。ほっとした。今、大事なことは、生産者も消費者も風評に惑わされず、正しい知識を持って冷静に行動す

ることだと思ふ。それが復興への一歩につながる」と前を見る。

安全・安心至上主義はこれからも変わらない。風評にも屈しない頑固な農業で、地域を牽引する。

*財団法人環境化学研究所が行った放射性物質検査。食品衛生法が定める食肉中の放射性セシウムの規制値は500ベクレル/kg

Profile 1941年藤沢町生まれ。(有)懸石農産代表。安全・安心をモットーに、農薬や化学肥料を使わない米づくりを実践。93年からアイガモ農法、97年からEM(有用微生物群)栽培米に取り組む。藤沢有機の会会長、認定農業者、水田環境鑑定士。妻、長男、母と4人暮らし。藤沢町新沼在住。70歳



三浦さんの水田。有機農業の看板④。青は空、緑は田、茶は土を表す。水田環境調査④では最高ランクの「特A」に鑑定された。「環境は自分だけでは守れない。地域の皆さんの理解と協力があればこそ」と感謝する



Local Station
Vol.01

新月駅

Niitsuki_sta.

宮城県の地名を語る駅

市内室根町にある「新月駅」。昭和4年、大船渡線・折壁一気仙沼間の営業開始に合わせて開業した。駅名の「新月」は宮城県の旧新月村(現在の気仙沼市新月地区)に由来する。近くで美容室を営む小山友子さん(59)に案内していただいた。

かつては、朝一番の下りで100人以上の乗り降りがあり、1日の乗降客も250人以上を数えたという新月駅。昭和43年から同駅前までホテルを営む小山三郎さん(71)は「有人駅だったころは、駅員さんとも家族同様の付き合いをさせてもらいました。蒸気機関車の汽笛の音や地響きには、何とも言え

ない情緒があったものです。今は乗り降りする人も少なく、駅前の活気もなくなってしまったのは寂しい限り」と当時を懐かしむ。

昭和47年に無人化され現在は、通学する高校生が利用するほか、乗り降りする人もまばら。昔と変わらぬ景色、静かに流れる時間に時折響くキハの走行音。昭和の香りが残り、懐かしく旅愁を誘うローカル線の駅がそこにある。

市内の最も東にあり、人や物の往来を見守ってきた新月駅。この駅を出ると上り列車は折壁駅を目指す。



左: 少し寂しく、懐かしい景色。まばらに残った冬柿の橙色が印象的
右: 車窓から眺める冬の景色が旅愁を誘う

小山酒店 小山三郎さん



自主的に清掃活動をしています。そのご縁もあってか駅の管理を頼まれ、名誉駅長にも任命されました。駅員さんの引越しの際には荷物を運ぶ手伝いをしたことも。当時の駅員さんたちとは、今でも交流しています。



案内人

小山美容室 小山友子さん



嫁いでから35年、毎日駅を列車を見て暮らしています。息子を含め、この辺の高校生はみんな利用する駅。地域のみなさんで清掃活動も行っています。